

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った放射線学的検査（単純レントゲン画像やCT画像など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や放射線学的検査（単純レントゲン画像やCT画像など）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	人工股関節全置換術における大腿骨インプラントデザインの違いが大腿骨インプラントの初期固定性に与える影響の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 整形外科 教授 高尾正樹
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
対象となる方	2021 年 1 月から 2025 年 4 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち変形性股関節症と診断され人工股関節置換術を施行された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、画像検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した放射線学的検査画像
研究の概要 (目的・方法)	高齢化が進む日本で増えている人工股関節置換術は、股関節の痛みや動きの悪さを改善する手術です。この研究では、愛媛大学附属病院で 2021 年 1 月から 2025 年 4 月までにインシグニアシステムとアコレード 2 システムどちらかの大腿骨インプラントを使用して行われた人工股関節置換術の術前から術後にかけて撮影された経時的な単純レントゲン画像を術後 2 年まで分析し、大腿骨インプラントのデザインの違いが、手術後の初期固定性に与える影響を調査します。この研究では、人工股関節置換術における最適な大腿骨インプラント選択につながるエビデンスの構築を目指しています。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたし

	ます。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ 先	愛媛大学医学部附属病院整形外科 忽那辰彦 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960-5343